

金城学院幼稚園卒園児保護者の声

卒園の保護者から、金城学院幼稚園に通いどのような感想を持たれたか率直なご意見をアンケート形式でいただきました。多くのお母様からこの園に通うことを考えつつも迷っておられる方には是非この感想をお伝えし役立ててほしいと言われました。

その思いをお読みいただき、生の声として参考にさせていただければ幸いです。

問いかけ①

キリスト教をバックボーンとした教育スローガン「愛され、育ち合う」を保育やお子さまの成長を通して感じたことは在りましたか。

- ・自分で選択できない時期から宗教に触れさせることに抵抗があり、初めはお祈りや礼拝など、無条件に参加しなくてはならない環境が少しいやでしたが、今思うことは、子ども達がお祈りや礼拝など神様に触れる機会を持つことで、「自分は一人ではない」「自分は愛されている存在なのだ」「自分も他の人も大切な存在なのだ」と感じられていることは、これからの人生でも強い力になって行く。結果良かったと思えるようになりました。
- ・担任の先生以外の先生からも「今日は〇〇チャン〜でしたよ」と声をかけていただき、全ての先生が子ども一人ひとりをよく観てくださり、子ども達が愛されていることを通し、神様の愛を感じる事が出来ました。
- ・毎日の生活の中で、お友達がお休みだと心配したり、お友達が何か出来るようになると自分のことのように喜んでいたり、困っていれば助けてあげたり…またお友達からも同様にして頂き、互いに大切に思いやり育ち合っていることを嬉しく思っています。
- ・子ども一人ひとりの気持ちを何よりも大切に考え、尊重し受け入れてくれる雰囲気が園全体にあり、日々子ども達と真剣に向き合っている先生方から大きな愛を感じると同時に、学ばされることが多々ありました。
- ・いつも神様が見守っていると言う教えが自信となって根付いたと思います。経験することにより積み上げる自信も大切ですが、幼児期のうちに心の根っこに“自信”が持てたことが、これからも支えになると思います。
- ・先ず「あなたはそのまま、そこにいていいよ」という安心感があり、その中で親も子もお互いに認め合い成長していること。また、感謝すること、祈ることの大切さを教えていただきました。
- ・子どもは勿論、親も育ち合うことを教えていただきました。先生方やお母様達と出会えたことで私自身学ぶことが多く、人生が豊かになりました。
- ・家庭でも祈ることを覚え、お休みの友達や時には外国で災害に遭われた方々に想いを馳せることもあり、日頃自分の事ばかり考えがちな中で、周りの人々を気遣うことが出来るようになり大切なことを教えていただいたのだなと感謝しています。
- ・神様からも、先生達からも、お友達からも大切にされ、自分も他の人を大切に思う気持ちが育つのが、キリスト教教育だと実感しています。
- ・先生方は勿論、他の親御さんからも温かく見守られ、また自分も我が子だけではなく、お友達の成長を感じる事が出来るこの園全体が愛に満ち溢れていることを日々幸せに思いました。
- ・お祈りを通して他者への思いやり、優しさが芽生えたと思います。感謝の言葉やお友達を気遣う言葉など普通に口に出せるようになったのはキリスト教教育を通しての賜物だと思いました。

問いかけ②

縦割り保育についてどのように感じておられますか。

・核家族や少子化の中で、異年齢の子との関わりがあることはとてもよいと思います。年上の子たちに愛され、受け入れられ、憧れをもったり真似をしたりいろいろなことを習得できます。そして自分が年上の立場になった時、年下の子に優しくしたり自分がしてもらったようにしてあげたり出来るように思います。教えられるのではなく自然とそうしたことが関わりを通して身につけて行くことがよかったです。

・毎日異年齢のお友達と関わる中で、その接し方を学びながら育つことが出来たことは、全てがかけがえのないもので、娘の心の中にいつまでも温かなものとして残ってくれると信じています。縦割りがあるからこそこの園を選んだと言えますが、やはり正解だったと3年間通して常に感じることでした。

・大きい子は小さい子を自然に助けたり、教えたり、また小さい子は大きい子たちから刺激を受けチャレンジしたり、互いに成長しあっている関係は縦割りでなければできない経験でした。またその関係性が引き継がれていくことにとても感動しました。

・憧れたり憧れられたり、身近に憧れる対象があることがこんなにも素晴らしいことなのだと気付きました。まだまだ月齢による成長の差が大きい時期に、気の合う遊び相手を同じ学年の子だけではなく選べることも良い環境でした。

・縦割り保育に憧れこの園を選びました。考えてみれば学校以外の社会では異年齢の人と過ごす私達、“自然な感じ”で家族の様な温かさに包まれた幼稚園生活でした。

・親や先生以外の存在に大切にしてもらえる、愛されるとの実感が得られるのは縦割り保育ならではの事ではないでしょうか。

・年齢だけでなく、いろいろな発達状況の人がいる中で育つことによって、困っている人、助けが必要な人にも自然に手が差し出せる人に育っていきけるのではないかと感じました。

・縦割り保育そのものが「愛され 育ち合う」と言うキリスト教保育に繋がることだと実感しました。

問いかけ③

自発的な遊びを大切にしている保育についてどのように感じておられますか。

・保育者から与えられたもので教えられた通りに遊んでいる子達よりも、自分で見つけた何かで考えた遊びをする子ども達の方が、生きていく力は抜群にあると思います。3年間の幼稚園生活のお蔭で何も無いところでも遊びを作っていける子どもに育ちました。

・自由な遊びが出来る時間がたっぷりと保障され、先生方がとことん付き合ってくれる環境が良かったです。「今日は〇〇する」と意志をもって幼稚園に通えました。友達と一緒にやりたいことをやり遂げる力が付きました。

・与えられたことで遊ぶより、自発的な遊びを展開することの方が難しいことだと思います。一斉で何かをすることはルールに乗ってしまえば何とか形になりますが、自発的な遊びはやりたいことを見つけなくてはなりません。人生において必要な力を培ってきたと思います。

・やりたいことをとことんできることに魅力を感じつつも、遊びに偏りが出来るのではないかが心配でした。しかし先生たちの働きかけが適切になされ、友達からの刺激もありいろいろなことへ関心を持つことが出来、無限に想像力が膨らみ遊びが広がっていくことを知りました。自発的な遊びの大切さをしみじみと感じています。

・やりたいことを心のままにやれる環境が用意されており本当に贅沢な環境だと感じます。この環境でこそ子どもの本当の探究心、自尊心、集中力が培われるのだと感じます。この園の子ども達の様子はいつもキラキラ輝いていると思います。

・ここまで子ども達のことを尊重し、思う存分やりたいことをやらせてくれる幼稚園は中々なくとてもありがたかったです。自由に遊ぶ中、年少、年中、年長と遊びがどんどん発展し成長が感じられました。

- ・遊びに没頭できる我が子は当たり前の姿と思っていましたが、小学生になりいろいろな子と遊ぶことが増えましたが、意外とちゃんと遊べる子が少ないことに驚きました。
- ・自分で考え、自分で行動する！毎日の遊びの中にはきっと失敗したり成功に喜んだりを経験にしていることと思います。生きていくうえでこのことは本当に大切になってくると思うので、そのような保育にとっても感謝しています。沢山遊び、考えて過ごせたこと、そしてまた次の日もその続きが出来ること、素敵な時間を過ごしてきました。
- ・親はつい子どもの学習面を意識し、小学校に入学した際に困らない学習能力を望んでしまいがちですが、長い目で見た時どれだけ遊びの中で学んできたかの方が大切なのだと気付きました。
- ・登園するときいつも遊びの予定を立てています。決められた路線を走るのではなく、決められていないから自分で自然と計画を立てることが出来るようになったのかと思いました。

問いかけ④

預かり保育についてのご意見ご感想をお聞かせください。

- ・上の子の用事に振り回されることが多く、自分の思うように遊ぶ時間が取れないわが子にとり、たくさん遊べて満足していました。
- ・保育内容も通常保育とリンクしていて充実した内容に満足しています。家庭的雰囲気の中で、おやつには毎日いろいろな種類のおにぎりを作っただけで大満足でした。
- ・働きながらもこの園に通わせることが出来たのは預かりのおかげでありがたかったです。
- ・仕事を持たないのに預かりを利用することにはじめ罪悪感がありましたが、園長先生からお母さんが疲れたときの休息や、リフレッシュすることでまた子どもと良い関わりが持てるために使っているのよと言われ助けられました。
- ・とも働き世帯が利用できる時間設定であるともっとよいと思います。

問いかけ⑤

給食とお弁当についてのご意見ご感想をお聞かせください。(現在は週2日お弁当、週3日給食)

- ・子どもはお弁当が大好き。給食はとてもこだわりを持って作っただき、和食中心の家庭的なおかずを丁寧に提供していただき感謝です。何よりも美味しく安心な内容です。
- ・はじめは正直毎日給食がいいかなと思いましたが、いつの間にかお弁当作りが親子の大事なコミュニケーションだったのでは？と思えてきました。小学校は毎日が給食なので少しさみしいです。
- ・給食に頼り切るのではなく、お弁当の日があることは愛や感謝を学ぶことにつながると感じました。
- ・お料理は苦手ですが、「お母さんのお弁当、やったー！」と喜んでくれるので、とても嬉しかったし一緒にお弁当を作ったりして大切な思い出です。

問いかけ⑥

親の送迎についてのご意見ご感想をお聞かせください。

- ・バス通園は子どもの遊び時間を奪うようなイメージがあり、車通園にしました。車中での会話は笑ったり怒ったり連続でしたが、かけがえのない時間でした。
- ・入園当初は毎日泣いていた娘ですが、直接担任にお渡しすることでどのように接していただけるのかが分かり安心することが出来ました。また、年長さん年中さんが泣いている娘を優しくフォローしてくれる姿を見ることができたのも送迎をしていたからこそだと思います。

- ・親子で歌を歌ったり、どんぐりや木の実を拾ったりしながら通ったことはかけがえのない時間でした。

問い合わせ⑦

施設、設備（園庭も含みます）についてのご意見ご感想をお聞かせください。

- ・名古屋にある幼稚園とは思えないくらい緑いっぱいでもとても良い環境です。他にはない自然に溶け込んだ園庭や遊具や、与えられたものではなく遊びを創造できる環境が素晴らしいです。
- ・すべての保育室が園庭に面していて、子ども達が気軽に外遊びが出来るところも素敵です。
- ・木の温もりを感じる遊具や昆虫ジャングル、山やトンネルなど子ども達の探究心が呼び起こされる環境は贅沢なくらいです。私もこんな幼稚園に通いたかったと思ってしまいます。
- ・どのクラスにも行き来しやすく開放感のある園舎が大好きです。
- ・トイレに少し古さを感じてしまいますが・・・（2018年度夏に全面改装いたします。）

問い合わせ⑧

父母の会活動についてのご意見ご感想をお聞かせください。

- ・入園前、うわさでは「大変らしいよ」と聞いたことがありましたが委員さんたちはとても楽しかったといわれますし、楽しそうに見えました。誤解が解けるといいなと思いました。
- ・入園前に創造していた大変さはほとんどなかったという感想です。「あその幼稚園は父母の会が大変らしい」と言ううわさのみが広がって、とても残念に思います。私もとても楽しく充実した日々を過ごさせていただきました。
- ・とても貴重な委員活動の一年を過ごしました。園児たちがより充実して過ごせるように奉仕をする方針の会は心温まるものでした。委員会はお仕事を持つ方にも配慮して融通が利くところも良いことでした。
- ・委員数や活動内容も固定観念ではなく柔軟に取り入れたり変えたりしていけばよいと感じましたし、そのようになってきていると思いました。
- ・委員会参加の前は不安もありましたが、やってみないとわからない楽しさや充実感などがたくさんあり非常に良い勉強になりました。参加できて本当に良かったことをこれからのお母さん方にも伝えてあげたいです。

その他にないかありましたら・・・

★兄の幼稚園選びの時、金城っていうとすごくブランドな幼稚園のイメージがあり、はじめから選択肢に入っていませんでした。また、バスがあって、給食が毎日あって、習い事もできる幼稚園だったらいいなあと思っていました。あるとき知り合った方から「金城ってそんなにブランドイメージな幼稚園ではないよ。見学でも遊ばせてくれるから一度公園遊びのつもりで行っておいで。」と勧められて遊び体験にきました。で、そのとき気付いてしまったのです・・・遊ぶ子ども達の目がキラキラ輝いていて、子どもの本来の姿ってこれだよなあ。バスも、給食も、お勉強も、全部親の都合。子ども側に立って考えれば、楽しいと思えることが一番ではないかと。長い人生のたった3年間子どもが楽しく過ごせるなら、送り迎えも、弁当も面倒なことはやってあげよう・・・結果、そんなに面倒なことでもなかった。・・・勉強は小学校に行ったらいやでもしなくてはならない。遊べるのは今！その今を大切にしていればよかったと思うのは私の自己満足でしょうか？

子どもに、生きていく力が付く幼稚園でした。「楽しかったよ、幼稚園。大人の私もね。」が私の感想です。

★この幼稚園を卒園されたご父母が、「我が子も通わせたいと思い、入園しました。」と言われている幼稚園。ここに過ごして、時代が変わっても変わってはいけない大切なことがあると知りました。たった3年間を「幼稚園の頃がパラダイスだった。」と話されている方の思いがわかります。卒園しても園庭ワークやバザーのブースなど、子ども達が関われる機会が作られ、感謝しています。